

与那原彩発見



- P 2 第3回 議会定例会 議案書
- P 3 第3回 議会定例会 会議内容
- P4.5 第9回 議会報告会「かたやびら よなばる!」
- P 6 9月定例会 一般質問
- P 17 議会と意見交換ができます・Let's go 傍聴
12月定例会日程・議長活動報告・編集後記
- P 18 ヒーロー・ヒロインインタビュー

表紙
撮影者



瀬底 奈美
せそこ なみ

無意識に見上げた空に
雨雲らしき雲が迫って来て
陰影が綺麗だったので
撮影しました。

議会
だより
「書」



与那原中学校3年生 謝花 海
じゃはな まりん

高校受験がんばります！

令和5年 第3回 議会定例会

9月定例会は9月4日(月)から9月22日(金)までの19日間の会期で開催しました。令和4年度一般会計決算及び各特別会計決算については、総務財政常任委員会・建設文教常任委員会にて審査を行い、全て認定するものと決定しました。またその他に議案10件、報告3件、同意8件、諮問1件が提案され賛成多数により全て可決となりました。

認定

各会計決算の比較表

			令和4年度	令和3年度	増減額
一 般 会 計		歳入	89億9342万円	102億4489万円	12億5146万円減
		歳出	86億3792万円	97億8046万円	11億4254万円減
国 民 健 康 保 険 特別会計		歳入	22億3752万円	21億8825万円	4927万円増
		歳出	22億3237万円	21億8389万円	4847万円増
後期高齢者医療 特別会計		歳入	1億6348万円	1億5768万円	579万円増
		歳出	1億6214万円	1億5710万円	503万円増
下 水 道 事業会計	収益の 収支	収入	3億4269万円	3億2639万円	1629万円増
		支出	3億2941万円	3億3716万円	7752万円減
	基本的 収支	収入	3億1427万円	3億6933万円	5505万円減
		支出	3億2099万円	3億6611万円	4512万円減
水 道 事業会計	収益の 収支	収入	4億7849万円	4億8368万円	519万円減
		支出	4億3241万円	4億4144万円	903万円減
	基本的 収支	収入	7224万円	6360万円	864万円増
		支出	9763万円	8125万円	1638万円増

審議議案と議員の賛否

議案10件が審議され議案9件が全会一致で可決、議案1件が賛成多数で可決。

議案番号	件名
37号	令和5年度 与那原町一般会計補正予算(第3号)

議決結果	議員名												
	船谷政喜	相羽としえ	志村幸司	新垣真一	古堅亮吉	徳田将仁	諸見里史子	我謝孟範	上原晃	松長康二	山口修	当真聡	識名盛紀
原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○

*その他の議案名等については与那原町議会HP

○(賛成)△(棄権)

(<http://www.town.yonabaru.okinawa.jp/gikai/>)をご覧ください。

第9回 議会報告会「かたやびら よなばる!」開催

【午後7時～上の森かなちホール】



9月22日(金)に第9回議会報告会を上野の森かなちホールにて19時から開催しました。町民の参加者4名と過去最低人数でしたが、様々なご意見やご指摘をいただきました。今後の反省点としては、周知方法の仕方の見直しを行い、多くの町民が参加できるよう取り組んでまいります。

総務財政常任委員会

①首都圏外郭放水路(埼玉県)

日本の首都圏で水害を軽減することを目的とした治水施設(放水路)。中小河川が洪水となったとき、一部を江戸川に流し洪水の軽減をする仕組み。



委員会所見

治水や低級河川の氾濫の対策として参考に出るものがあると感じた。ポンプでの排水としての機能は少し勉強が必要。

本町も海拔が低い地域が多数を占める行政区があるため、独自の氾濫解消方法を検討する必要がある。

※敷地内上部(地上)はスケートボード施設やサッカー場としても活用されていた。

②横浜市民防災センター(神奈川県)

地震・火災体験及び風水害体験等の6種類の体験プログラムをガイドの案内付きで分かりやすく防災・減災について学べる施設。



↑モニターを使った消火体験



←室内に煙が充満した際の避難行動レクチャー

委員会所見

本来、東部消防施設組合にあれば町民の防災意識の啓発をすることが出来る。1組合としての施設だけでは相当の費用がかかるため、他消防組合同士で負担等が可能になるのであれば、県内に同等の施設を設置することができ体験・参加型アトラクションとして興味をもってもらい、県民の防災・減災意識の向上を図ることが出来るのではないかと感じた。

③Fujisawa SST(神奈川県)

「生きるエネルギーがうまれる街」として、技術先行のインフラ起点でなく、住民一人ひとりの暮らしを起点に街づくりを実現することをモットーとしたリアルスマートタウン。



委員会所見

住民の快適性、地域特性や未来の暮らしを考えているため、家や施設など街全体をスマートな空間として設計したのちにインフラを最適に構築している。

一般的な建設等に関してはインフラ整備が先行、もしくはインフラ整備と同時に並行で行われているが当該地区については、地形や周辺環境等の前段に「人」を中心に置いた「暮らし起点」の発想で、安心・安全な生活が持続できるような街づくりを実現していた。本町も脱炭素先行地域として取り入れられるよう見習っていくことが重要だと感じた。

④押しボタン式横断者電子表示板(神奈川県)

横断歩道前で運転手に歩行者の存在を知らせ、交通事故抑制を図る点滅機。

小中学校前のスクールゾーンの登下校時は多くの児童生徒が往来するが交通量などから鑑みると信号機の設置基準には満たないため、横断を補助する点滅機を導入した。



委員会所見

当該箇所については設備購入費及び工事費などを含めて600万円と比較的に安価であった。

本町においても信号機設置は行政の方から再三、県警へ要望しているところであるが、設置基準に満たない。また、県警としての優先順位は上位でないため設置に至っていない。

今後は数機購入して町内の危険な横断区域へ設置することも検討が必要ではないかと感じた。

第9回 議会報告会「かたやびら よなばる!」開催

【午後7時～上の森かなちホール】



9月22日(金)に第9回議会報告会を上森かなちホールにて19時から開催しました。町民の参加者4名と過去最低人数でしたが、様々なご意見やご指摘をいただきました。今後の反省点としては、周知方法の仕方の見直しを行い、多くの町民が参加できるよう取り組んでまいります。

総務財政常任委員会

①首都圏外郭放水路(埼玉県)

日本の首都圏で水害を軽減することを目的とした治水施設(放水路)。中小河川が洪水となったとき、一部を江戸川に流し洪水の軽減をする仕組み。



委員会所見

治水や低級河川の氾濫の対策として参考に出るものがあると感じた。ポンプでの排水としての機能は少し勉強が必要。

本町も海拔が低い地域が多数を占める行政区があるため、独自の氾濫解消方法を検討する必要がある。

※敷地内上部(地上)はスケートボード施設やサッカー場としても活用されていた。

②横浜市民防災センター(神奈川県)

地震・火災体験及び風水害体験等の6種類の体験プログラムをガイドの案内付きで分かりやすく防災・減災について学ぶ事ができる施設。



↑モニターを使った消火体験



←室内に煙が充満した際の避難行動レクチャー

委員会所見

本来、東部消防施設組合にあれば町民の防災意識の啓発をすることが出来る。1組合としての施設だけでは相当の費用がかかるため、他消防組合同士で負担等が可能になるのであれば、県内に同等の施設を設置することができ体験・参加型アトラクションとして興味をもってもらい、県民の防災・減災意識の向上を図ることが出来るのではないかと感じた。

③Fujisawa SST(神奈川県)

「生きるエネルギーがうまれる街」として、技術先行のインフラ起点でなく、住民一人ひとりの暮らしを起点に街づくりを実現することをモットーとしたリアルスマートタウン。



委員会所見

住民の快適性、地域特性や未来の暮らしを考えているため、家や施設など街全体をスマートな空間として設計したのちにインフラを最適に構築している。

一般的な建設等に関してはインフラ整備が先行、もしくはインフラ整備と同時に並行で行われているが当該地区については、地形や周辺環境等の前段に「人」を中心に置いた「暮らし起点」の発想で、安心・安全な生活が持続できるような街づくりを実現していた。本町も脱炭素先行地域として取り入れられるよう見習っていくことが重要だと感じた。

④押しボタン式横断者電子表示板(神奈川県)

横断歩道前で運転手に歩行者の存在を知らせ、交通事故抑制を図る点滅機。

小中学校前のスクールゾーンの登下校時は多くの児童生徒が往来するが交通量などから鑑みると信号機の設置基準には満たないため、横断を補助する点滅機を導入した。



委員会所見

当該箇所については設備購入費及び工事費などを含めて600万円と比較的に安価であった。

本町においても信号機設置は行政の方から再三、県警へ要望しているところであるが、設置基準に満たない。また、県警としての優先順位は上位でないため設置に至っていない。

今後は数機購入して町内の危険な横断区域へ設置することも検討が必要ではないかと感じた。

建設文教常任委員会

視察①「水の都ひろしま」づくり事業について

目的

- ①東浜水路沿いを活かした「まちづくり」を、今後どのようにしていくか。
- ②どのような経緯で事業が行われたのか。また、事業実施や現状での問題点集客状況や管理体制、事業の成果などの情報収集や意見交換。

参考資料 ①



独立店舗型や地先利用型のオープンカフェなどがあり、その他にも世界遺産航路を巡る定期航路や、水上タクシー等の取り組みを行っている。



※基本方針(3つの柱)
つかう・つくる・つなぐ

- ① 市民による水辺の活用
- ② 水辺空間の整備とまちづくりとの本化
- ③ 水辺のネットワークと水の都の仕組みづくり



ライブやダンス、吹奏楽などのイベントが開催され、クリスマス時期はイルミネーションのライトアップなどが行われている。



※店舗は民間事業者を公募し、売り上げ利益の一部を花と緑の管理費に充てている。コロナ前には9店舗で年間約22万人を集客。春と秋には文化活動の一環として、近隣の学校なども参加をする水辺のコンサートを開催。2時間の開催で、およそ1万人近く訪れる広島風物詩となっている。また、そのほかにも、水辺利用の推進として、サップやカヌーなど色んなイベントが行われている。

また、イルミネーションライトアップの電気代などは、各事業者からの協賛金などですべてがまかなわれている。

※東浜水路は現状水質問題もあるが、観光の観点も含め、経済・雇用・まちづくりに関して、本町においては大切な資源・財産であり、今後議会としても早急に取り組むべき課題の1つである。

視察② 宮島町・千光寺(尾道市)ロープウェイ視察

目的

本町を含め、広域的に将来の観光事業への取り組みとして。(例)首里城→運玉森→斎場御嶽(せーふあうたぎ)

参考資料 ②

2022年3月に新設されたスロープ状の展望台



展望台から見える尾道水道



様々な作家・詩人の文学碑を見ながら登山・下山ができる「文学のこみち」



千光寺



鐘つき堂



3分間のロープウェイで山頂へ



ロープウェイ乗り場(建物右側) 徒歩で登るときは左側の鳥居から

※本町としても、歴史・文化を継承、活用しながら、今後は独自で新たな観光資源を作るべきではないか!!



三重塔(天寧寺)



猫の細道

議会運営委員会

「国道329号与那原バイパス立体交差点の変更及び早期開通の要請決議について」

日時▶令和5年2月7日

場所▶①南部国道事務局 ②沖縄総合事務局

要請内容

- ①与那原バイパスの全面供用開始時期についてMICE施設供用開始への影響がないように内容当初の計画通り工事を進めること。
- ②与那原バイパスと国道329号との交差を現在の平面交差から、事業当初の計画であった立体交差に変更すること。

その他視察・見学 原爆ドーム/平和祈念資料館(原爆資料館)

目的

平和学習の観点から、戦争のない平和な世の中をつくり、原爆という悲惨な状況を二度とおこしてはならない。

参考資料 ③



慰霊碑



今も残る当時の瓦礫 平和記念資料館(原爆資料館)



原爆ドーム



被爆時に着ていた実際の洋服や写真、手紙など、当時の様々なものが展示されている。

防災活動の適切な実施を

— 安全面を第一に考え早期の対応が必須! —



質問

8月頭に台風6号が襲来した際、板良敷の海岸道路を封鎖したが、大変危険な状況での作業となっていた。どのように判断したのか。また、今後の対策は。

饒平名まづくり課長

封鎖の判断は、パトロールに伴う現場情報や台風の進路及び風向きや潮位などをもとに判断している。封鎖箇所は沿岸沿いの2箇所以外に、町道にも4箇所あるが、風がだいぶ強かったため職員は1箇所のみを閉めて戻った。今後は早めの対策を判断していきたい。また、マニュアル的なものを作れたらと考えている。

城間副町長

職員も危険な状況だということで、これ以上の作

業をしないよう指示をした。現場作業での細かいマニュアルがないため、今後しっかりと整理しながら、からぶりで良いので早め早めの対策を講じていきたいと考えている。



当添側の封鎖場所

与那原大綱曳の安全対策は的確だったか

質問

まつり会場(与那古浜公園)内は通路が狭く行き来が困難であった。また周辺道路においては渋滞が見られたが今後の対策は。

桑江観光商工課長

導線の確保のためのカラーコーンや看板設置、仮設照明の増設、交通誘導員も増員し、重大な事故等もなく終えた。まつり会場の通路が狭かったり、密集して危険なところもあったので来年の反省に生かしていきたいと思っている。渋滞については、行先別に道を指定出来ないかなど検討している。



こった返すまつり会場

図書館への授乳室設置は進んでいるか

質問

昨年9月の一般質問で設

置を依頼したが進捗状況は。また安全面への配慮はどのようなように考えているか。

照屋生涯学習振興課長

今年12月までに設置する予定で進めている。安全対策は、カーテンが強力に開かないような形にするなど、もう少し検討したい。

小中学校におけるインターネットの安全活用推進を

質問

インターネットでのいじめや、不適切投稿などの問題が発生していないか。学校として正しい指導を行っているか。

呉屋教育指導主事

小学校では不適切投稿や仲間はずれ、また中学校では暴言によるトラブルが発生し、指導済みである。また正しいということが人を裁いて良いということではない、ということを前提に正しい方の指導を引き続き行っていきたい。

ゴミの分別で脱酸素社会へ

— あなたの行動が環境に優しい町へと繋がる —



質問

東部環境美化

センターの粉砕機の一部が10年以上使用されておらず、人手に頼り、焼却炉の耐久も厳しい。しかし、住民が正しいゴミの分別をすれば、再稼働可能になり、経費も削減できると聞いた。燃焼

ゴミの半分がリサイクルできる紙と布。環境の為に分別ゴミ出しを推進できないか。

金城生活環境安全課長

他市

町村との連携も必要だが、町民の皆様と協力し、ゴミの量を減らす事が最優先課題。状況を確認しながら検討していきたい。



紙・布以外のゴミは人の手で再分別される
＝東部環境美化センター

情報発信の

重要性と危うさ

質問

与那原大綱曳で、大綱を担ぐ集合時間などの詳細な情報が発信されず、担ぎたくても担がない人がいた。また、来年に繋げる情報も掲載しなかった理由は。

桑江観光工商課長

詳細情報

を載せきれなかったのは反省点。来年に活かしたい。

質問

大綱曳会場とまつり会場が分かれており、見たくとも現地で見られない人の為にYouTube配信をして欲しいが。

桑江観光工商課長

専門的な業者に委託する必要があるが、高額

費用が想定される。今後検討させていきたい。

質問

台風6号が襲来し、停電した時の情報発信方法は。

金城生活環境安全課長

ラジオ

か携帯のみになってしまうため、高齢者などには伝えきれなかった。

質問

災害時こそ町の詳細が伝えられるコミュニティFMが役立つ。FMよみたんは55時間台風情報を放送した。FM与那原はどうされていたのか。

金城生活環境安全課長

FMよ

みたんに話しを伺いながら、与那原も活用できるような体制を



糸満大綱引をYouTube配信し糸満市場でも公開

とつていきたい。

質問

現代は、個人が気軽に情報発信出来る反面、危うさもある。町の公式SNSに個人のつぶやきを入れる必要性はあるのか。チェック機能は。

桑江観光工商課長

一部チェ

ック出来ない。再検討し、運用の方法、在り方を勉強していきたい。

照屋町長

情報の大切さ戦略も含め、公式としてももう少ししっかりとしたものとして発信できるようにやってみたい。

提言

公式は町代表の声であり、品格も必要。町への訪問者を増やし、地元産業を活性化させる為に、情報を正しく精査し、自ら情報収集をするなど、若い感性を活かしながらしっかりサポートしてほしい。

その他の質問

子育て支援課、社会福祉協議会、母子会と連携した、困窮世帯ランチサポートの組織作りの推進を

伝統行事のハーリーを継続

— 当添ハーリーを漁港以外の場所で開催を —



質問

当添漁港の拡張工事により来年からのハーリー行事ができなくなる。伝統的な行事なので、場所を移してでも継続したいが行政としての考えは。

桑江観光商工課長

当添ハーリーは、区と漁協それと有志の皆が集まり、実行委員方式で開催されている地域に根ざした伝統ある行事だと認識している。拡張工事により一時中断もしくは開催ができなくなるということは本当に残念。町としては、継続開催ができないか実行委員会の皆と協議調整を行い、新たな開催場所の確保や今後の運営継続に向け協力したい。

質問

開催場所として、東浜の河川や与那原マリナを活用す

る考えは。

桑江観光商工課長

町としても水路を活用したいが、干満で水位が違いすぎるのでハーリーをするには難しいと思う。現状だと与那原マリナを活用した方がいいと考えている。

照屋町長

伝統行事である当添ハーリーを続けてほしいという

中学生からの訴えもあった。物理的な事情で港が使えなくなっても、伝統行事は途絶えさせてはならないと思う。まずは当添区内の意見を集約してもらい、統一見解ができた暁には、早めに協議会方式がいいかと思うが、与那原マリナだけに固執することなく専門家や経験者の意見を求め、我々行政としても年内にでも意思の確認ができればと思っている。

提言

まず当添区としても意見の統一をして、その段階で町の方に協力と対策を求めたい。

「当添ハーリー」 与那原マリナで開催を！



伝統行事の「当添ハーリー」を継続へ！

学校給食、町独自の対応を

質問

昨今の物価上昇による中学校給食の質と量の維持はできているのか。

仲里学校教育課長

今年度はコロナ交付金を利用したり、給食内容を工夫して対応しているが物価上昇が続く場合は、給食費の見直しも検討しなくてはいいと考えている。物価の動向も留意しつつ慎重に判断したい。

提言

県の給食費の無償化とかの案に期待せず町の子どもたちのために町独自の対応策を考えてもらいたい。

大綱曳会場(御殿山青少年広場)に問題はないか

— 全長103mの広さに90mの綱、大丈夫か —



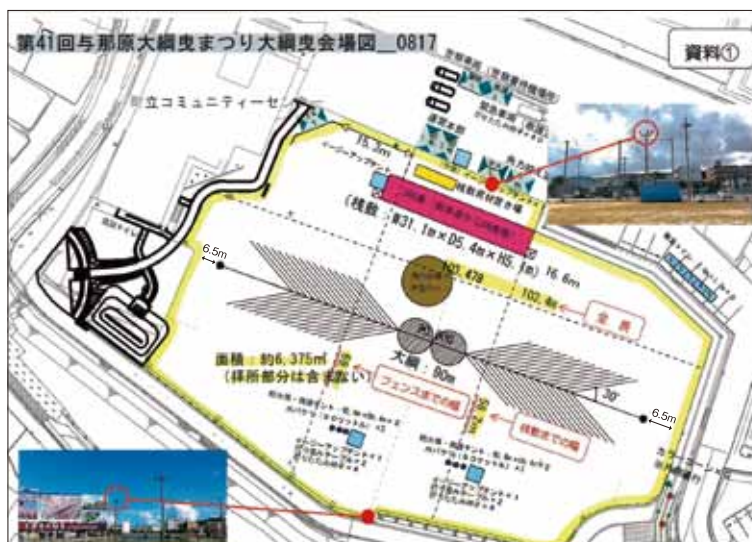
質問 大綱曳会場に

何も問題ないか。広さ、東西の中央線、合体される地点は決まっているのか。4年ぶりの開催をどう考えているか。

桑江観光商工課長

会場については実行委員会、各係の経験、英知を持って問題ないと考える。東西の中央線は綱顧問や綱係が現場確認のうえ、決定し、多くの方が担ぎ移動させるためどうしても位置のずれは出てくる。

質問 幅56m、長さ103mの



全長90mの綱曳が行われる「御殿山青少年広場」

大綱曳会場に大綱長さ90mが入ってくる。東西の綱を曳く幅は約6m、東西に2、3mずれると大変狭くなる。東西の勝敗は東の勝率36・5%、西の勝率63・4%となっており、この大きな差は何なのか。

照屋町長

4年ぶりに通常開催ができて非常に良かった。観客数も多く、足の踏み場もないぐらいだった。勝負は時の運、勝敗が決

した後はノースサイドで和気あいあいというのが与那原大綱曳の良さである。

質問 枚敷(観覧席)についてどう考えているか。招待者は誰がどう判断し決めるのか。

桑江観光商工課長

全体で360席、招待席数は152席を確保し、歴代の町長、議長、三役、教育長及び県知事や県議、他市町村長等を招待し、運営委員会事務局長、副町長、町長が決裁し案内文書を送っている。

学力テストの結果と今後の学力向上対策は

質問 本年度の学力テストの結果と、今後の学力向上対策をどう取り組む。

呉屋教育指導主事

小学校は国語と算数の平均正答率が県の平均正答率と同率で、中学校は国語、数学、英語が県平均を上回っている。正答率の低い問題は指導と評価の一体化に務め、基本事項の徹底やアウトプット型

の学習を推進する。

素晴らしい中学生議会、全生徒にどう伝える

質問 7月28日に開催された中学生議会を総評し、それをどう全生徒に伝え活かしていくのか。

呉屋教育指導主事

趣旨は議会を体験し、議会の働きや役割を学ぶこと、本町に関する様々な課題を自分達の生活とどのように関わっているか考えさせることで録画した映像を放映し、全生徒に視聴してもらい更に会議録を冊子にし、配布していく。再質問も全員ができたので、本当に素晴らしい議会だったと思う。

垣花教育長 今回の中学生議会は非常に感激した。主催者側、学校側の指導の賜だと、子どもたちも満足のいく手応えを感じている。与那原中学校の生徒会、学習の状況や、部活動が活性化している方向に進んでいくものと思っている。

広域連携学校給食センター候補地

— 給食を安全に配送できる候補地の選定を! —



質問 進捗状況はどうなっているか。

仲里学校教育課長 広域連携

学校給食センター基本計画及び、PFI導入可能性調査業務の委託契約を今年度7月に終えている。その後、基本計画策定に向けて両町の食数の将来推計であつたり、施設、規模、機能的な事項などの検討を行うと共に両町での選定条件を踏まえた候補地の選定作業を行っている最中であり、併せてPFI導入可能性調査の一環で、本事業への関心度など、第1回目のサウンディング調査を行っている。

質問 候補地選定の中で、資料では八重瀬町(案)はあるが、与

那原町(案)はないのか。

仲宗根公施設課長 候補地

の選定条件として、両町の小学校での検食、喫食時間を考慮した範囲や用途地域、インフラ条件、造成費用、用地の取得費用、周辺環境などがあり、それを踏まえて候補地は選定することになる。それぞれ候補地を出し、比較検討を行う予定をしている。

質問 給食を作つて2時間以内

に飲食をする、コンテナに載せ各学校に配送するのが1時間以内と示されている。県道糸満与那原線で移動時間は計算されているが、現在、南風原高速インターやバイパスなども整備されているので、移動時間は短縮される。それも踏まえて検討していく余地はあると思うが、本町の見解は。

城間副町長 給食センターにつ

いては、令和元年、令和2年それから令和4年度ということで検討を進めている。令和4年度の基本構想策定を受けて今年度から基本計画、PFIでの可能性

調査を進め、両町で覚書きを交わして、応分の費用負担でもって今年度の委託業務を行っている。ベクトルを同じように業務を進めているものと思っている。ただし、2町で話を進めるわけだから、どちらかがリーダーシップを取つて業務を進める必要がある。現状としては、与那原町のほうで業務を進めている。古堅議員から提案があつたように候



新学校給食センター(写真はイメージ)

補地の選定が、第1関門の大きなハードルである。候補地を出し合い、地権者との協議、合意形成を行い、総合的に判断しながら進めていくことである。



喫食2時間以内で安全な給食を子ども達に提供

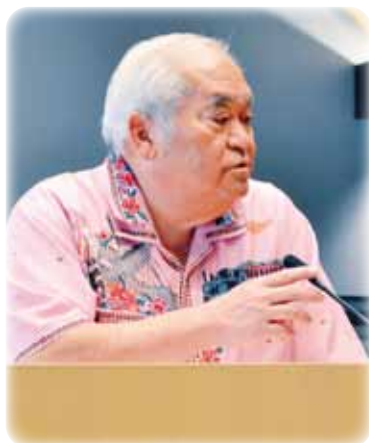
与那原町は八重瀬町が共同使用する広域連携学校給食センターの建設に向けた基本構想を策定。整備コストの削減などを図るため、2町による共同整備の方針を掲げた。25年度に事業者を選定、設計・施工を進め28年度から供用開始を目指すとしている。

その他の質問

● コンビニ納付、電子決裁はどうなっているか

大型MICE施設「PFI」事業

— 今度こそ実現できるか —



質問

MICE運営に関わる実施方針条例（PFI）が6月定例県議会で全会一致で可決されたが、具体的内容は、

山城企画政策課長

事業を行う民間事業者を選定する場合に定める必要がある条例となっており、事業の実施に関して必要な実施方針に定めるべき事項、民間事業者の選定の手続運営等の基準業務の範囲、利用料金などについて定められている。

質問

大型商業施設等もMICE事業と併設してやっていかない限り、民間がやるには厳しいんじゃないかと思っているが。

照屋町長

民間の様々なノウハウを使つてしっかりと運営してい



東浜Bブロックに企業の誘致を!

けば、西海岸とは違った東海岸にこういうような施設ができる。今後、沖縄県マリンタウン国際会議、大型展示場運営事業の会議があり、私もその委員となっており、その中でいろいろ確認をしながら私どもの要望もしっかりと伝える。

PFIとは：民間の資金と経営能力・技術力（ノウハウ）を活用し、公共施設等の設計・建設・改修・更新や維持管理・運営を行う公共事業の手法です。あくまで地方公共団体が発注者となり、公共事業として行うものであり、JRIやNTTのような民営化とは違い、正式名称を「Private-Finance-Initiative（プライベート・ファインナンス・イニシアチブ）」という頭文字をとってPFIと呼ばれている。

質問

BブロックのL字型の土地に企業のサテライトオフィスの誘致を考えたかどうか。

照屋町長

与那原町のまちづくりにとつて、非常に有効な土地であるという訴えはしっかりとやってまいりたいと思っている。

LGBT法を 小中学生にどう理解 増進させるのか

質問

LGBTの法律もできたが、ただ懸念するのはこれが教育現場に今後どのように影響していくのか。

呉屋教育指導主事

家庭・地域住民その他の関係者の協力、児童生徒の教育や啓発環境の整備、相談の機会の確保が必要。人権教育にLGBTの理解増進も加わり、エイズ教育やコロナウイルス感染症のときのように差別や偏見に気をつけ、正確な情報に基づき正しい知識で指導する。

LGBT平等法とは：性的指向（自分の恋愛や性愛の感情がどの性別に向くか向かないか）、性自認（自分の性別をどのように認識しているか）に関する差別的取り扱いを禁止し、LGBTも、LGBTではない人も平等に扱おうという法律である。

この法律において「性同一性障害者」とは、生物学的には性別が明らかであるにもかかわらず、心理的にはそれとは別の性別であるとの持続的な確信を持ち、かつ自己を身体的及び社会的に他の性別に適合させようとする意思を有する者であつて、そのことについてその診断を的確に行うために必要な知識及び経験を有する二人以上の医師の般に認められている医学的知見に基づき行う診断が致しているものをいう。

（性同一性障害者の性別の取扱いの特例に関する法律（案））

隣町村はできるが 与那原町はなぜできない

質問

幼稚園の預かり保育について延長すべきと思うが。

新里子育て支援課長

町立の保育所と幼稚園も含めて、検討させていたきたい。



行き渋りの子に居場所を

— 不登校の子ども達に適応指導教室の設置を —



質問 令和4年度の町内の小中学校の不登校児は何人か。

呉屋教育指導主事 町内小学校の内訳は次のとおりである。

■ 与 小

1年(0人)／2年(2人)
3年(3人)／4年(1人)
5年(2人)／6年(8人)
合計16人

■ 東 小

1年(0人)／2年(1人)
3年(1人)／4年(3人)
5年(12人)／6年(7人)
合計24人

■ 与 中

1年(13人)／2年(28人)
3年(18人) 合計59人で小中学校の合計で99人となっている。

質問 年々増える不登校児の原

因や理由を把握しているか。

呉屋教育指導主事 主な原因

で一番多い要因は、無気力、不安。2番目に多いのは、生活リズムの乱れ、遊び非行である。3番目は、いじめを除く友人関係をめぐる問題となっている。

質問 与那原小学校には、不登校の子や行き渋りのが多数いる。そういった子どもの居場所を確保するために、学校の中に「適応指導教室」を設置できないか。

呉屋教育指導主事 人員の確保などは、県の方に要請は以前



佐敷小図書館にある不登校の子どもの居場所

からしている。運営予算、場所の確保、人員確保の問題が解消できれば設置に向けて検討していきたい。保健室登校とか、学校内の空いている教室などを使ったりして対応していきたい。

照屋町長 どうしても必要なものだといいことであれば、設置に向けて取り組んでもいいかなと思う。

行きしぶりとは…学校に行きたくない素振りを見せるが、登校することはできない状態。
不登校とは…病気や経済的理由以外で年間30日以上欠席すること。完全に学校へ行けなくなってしまう状態。

病後ケア、精神的サポートを図れないか

質問 がん治療に伴う外見の変化に対するケアを通じ、がん患者の社会参加を応援し、脱毛によるウィッグ、乳房を切除された場合の補正下着などの購入費を町として助成を行い、がん患者の精神的サポートを図ることへの見解を伺う。

伊集健康保険課長 沖縄県でもアピアランスケア支援事業として、社会生活を送りやすくするための支援体制の検証を行っている。本町でも、県、他市町村への聞き取り調査や、どういった財源が活用できるかなど検討したい。

住みやすいまちを目指して、町独自の取り組みを

質問 町民(町内在住23歳)より、八重瀬町の南の駅やえせでユニークな自動販売機(子どもの紙おむつとおしり拭き)をみつけた。我が町でも提案したい。

新里子育て支援課長 特色ある自動販売機の情報収集をしつつ関係課と情報を共有しながら、設置について検討したい。



子どもの「紙おむつ」「おしり拭き」自動販売機

災害時、酸素療法患者の対応は

— 酸素ステーションを停電時にも活用できる電源の備えを —



質問

台風6号が最接近した4日から6日、沖縄県が在宅療法を続ける患者向けに酸素ステーションを開設していたが、本町が対応できず、停電で酸素が切れた患者が病院に搬送される件があった。今後どう対応するのか。

宮平福祉課長

災害時には避難所、電源確保が必要であり関係各課と連携し今後の備えとしたい。

与那古浜公園内バスケットコートの改善を

質問

与那古浜公園内にあるバスケットコートにはリングが1カ所しかなく不便。2カ所に



ボールが道路に飛び越えないよう対策を

設置できないか。また競技中ボールがフェンスを飛び越え道路に転がり危険である。網などで防止してほしい。加えていつでも気軽に運動が出来るよう、ボールを備えつけてほしいという町民の声がある。

饒平名まちづくり課長

リング、フェンス、コート全体をいろんな角度から改善したい。ボールの常設については試験的に設置し検証したい。

北朝鮮による衛星打ち上げへの対応は

質問

1回目は5月31日の6時頃、2回目は8月24日の真夜中4時、けたたましいサイレンの音で眠けを妨げられ迷惑を被ったが、説明を。

金城生活環境安全課長

北朝鮮のミサイル発射で消防庁によるJアラートの作動である。

質問

北朝鮮は2回とも日本政府に日時、軌道を通達している。それを政府は意図的にミサイルと歪曲し扇動している、町民感情からして許されるのか。

照屋町長

町民の睡眠の妨げになったと思う。Jアラートは本来地震、津波のための設定であり、機会があれば、その旨を申し上げたい。

日米安保条約とは何か

質問

日米安保条約締結から73年、今日の現状をどう捉えているか。

照屋町長

日本は専守防衛の立場であり、攻撃されたら守って貰うものと認識している。

質問

米軍が日本を守るのになぜ自衛隊が強大になる必要があるのか。

照屋町長

北朝鮮、ロシアの脅威、中東の紛争があり、専守防衛を見直す政府の見解を理解している。

質問

大量破壊兵器がないのにイラク、リビアに侵攻し、今の中東にしたのは米軍ではないか、その米軍が台湾に介入した場合、沖縄が戦場になり甚大な被害を被るとある、町長はどう対応するか。

照屋町長

防護は国の責務であり外交で解決すべきと思う。

単身高齢者への終活支援を!

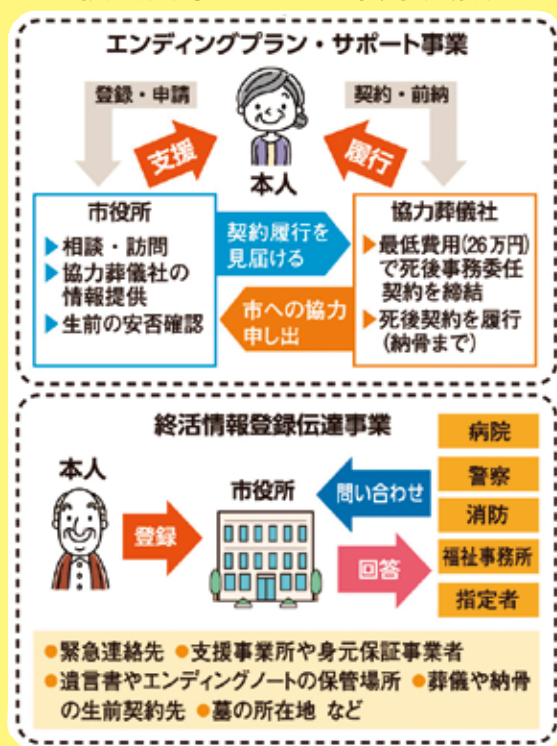
— エンディングプラン・サポート事業の実施へ —



質問 単身高齢者の中には身寄りがなく、頼れる家族もいない方がいる。そういう方が亡くなられた場合、遺体を引き取る人がいなくて無縁遺骨になる。そういう課題に向き合って終活支援に取り組み自治体が増えている。本町でも終活支援に取り組みな

いか。
宮平福祉課長 令和4年末に、沖縄県、沖縄県医師会、南部地区医師会、与那原町を含む南部6市町でエンディングノートのようなパンフレットを作成して配布しているが、内容の活用、説明についてはまだ周知がされていない。与那原町でも身寄りのない方が、今年度何人かは無縁仏に

横須賀市 二つの終活支援



神奈川県横須賀市「終活支援事業」の取り組み

納骨されてる実態もある。そういう方たちが事前に終活の意識を持てるように、まずはこのノートを活用しながら終活支援に結びつけていきたい。

提言 情報共有が肝心だと思う。そのためにはまずは相談窓口を設置するのが一番最初だと思う。例えば、社会福祉協議会に窓口を設置し、終活全般について相談できるようにすれば、社会福祉協議会が行っている支援にも連携して円滑につながるのではないか。

マリントウン地区 公有地土地利用基本計画

質問 現時点でのスケジュールを伺う。

山城企画政策課長 令和6年度に設計、施工。令和6年度から7年度には着工していきたい。

質問 東浜のテニスコートはその期間1年以上は使用可能だが、今後定期的に整備をしていくのか。

照屋生涯学習振興課長 随時

雑草の手入れをし、プレーができるような形にしていきたい。

質問 東浜25番地については、テニスコート改修の陳情が出ているが、本町の対応を伺う。

照屋生涯学習振興課長 スポ

ーツリウムが令和7年度から執行するので、テニスコート改修の陳情に関しては、多額の費用が必要になることから厳しいと判断している。

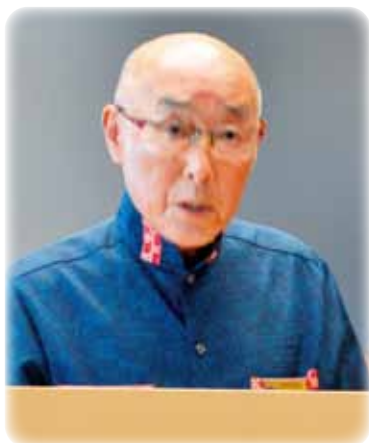
提言・質問 活用方針の中に各種スポーツが実施可能な施設とあるが、テニスも実施できるような機能を含めて検討していただきたい。事業者を決定する際に、行政からの意見も言えるのか。

山城企画政策課長 ポイントは民間の収益施設として成り立つかどうか。企業がこの施設なら収益が得られるというものに、これに変えてくれとか、この機能を加えてくれとかというのは慎重にならざるを得ない。



MICE事業とそれに付帯する事業はどうするのか

— 交通整備、施設拡大強化などの計画を明確に —



質問

①交通インフラ整備はどうなっていくのか、どうしていくのか。②上下水道施設の拡大強化はどうなるのか。③ゴミ処理施設をどうするのか。これらを問いたい。

山城企画政策課長

中南部地域への大型商業施設駐車場や公共駐車場を活用したシャトルバスの運行などにより、エリア内に車を入れない取組等を検討している。

当事者沖縄県の考えは

質問

各市町に全てを負担させることを考えているなら大きな誤りであると思う。しかしなが

ら本町は誘致した側である。応分の負担は避けられないと考えている。沖縄県と協議されたい、どうしているか。

山城企画政策課長

本町の総合計画に重要施策として位置付けられている事業については、通常の行政経費として実施する。国や県の補助も検討しながら十分な協議を実施していく。

MICE施設整備と町民の安心安全を守ることに關して

質問

工事とともに様々な人々が町内に流入してくる。それに伴い治安の悪化が予想されると考える。与那原警察署等、治安防犯機関との連携はどうしているのか。

金城生活環境安全課長

建設関係業者の作業員名簿等、身元確認等を含め沖縄県と連携を図りたい。与那原警察署とも情報共有を図りながら連携を取りたい。

質問

町内各所に防犯カメラ等

の設置が必要と思うが具体的にどのようにしていくのか。

金城生活環境安全課長

沖縄県に対し、各所に防犯カメラを設置するよう要請していく。周辺以外の区域については、今後地域住民や事業所の力をお借りして設置費用の一部を補助できないか検討していきたい。



町民の安心安全のため防犯カメラの設置を

与那原マリナー船溜りにある廃船を撤去せよ

質問

町民からの苦情もあるもので、速やかに対処願いたい。経過

説明を求める。

饒平名まぢづくり課長

漁船所属の知念漁協と与那原マリナーに確認したところ、船を解体する保険業者や解体業者と調整を進めており調整次第、解体撤去となると聞いている。

質問

いつまでに撤去するか、明確にしていたきたい。

饒平名まぢづくり課長

廃船の漁船については、令和5年12月までには撤去予定である。あとのボート3隻については、まだ明確には何時というところは言えないようである。



放置された廃船の撤去を早急に

町内全域にWi-Fi環境の整備を

— 通信が可能な施設を増やし利便性の高い町へ! —



質問

本町内でWi-Fi整備が行われている施設はどこか。

桑江観光商工課長

与那原町

を訪れる観光客及び町民に活用してもらうことを目的に軽便与那原駅舎、与那原町観光交流施設、与那原町コミュニティセンターの3カ所に与那原フリーWi-Fiを整備している。

仲里学校教育課長

学校内では

与那原小学校、与那原東小学校、与那原中学校にWi-Fi環境が整備されている。

質問

MICE施設を受け入れる上で町内外からの利用者、防犯防災、今後のGIGAスクール構想も含め、こういった情報インフラ整備も急務だと考える。他市町村でも沖縄振興特定

事業推進費の8割補助を活用してWi-Fiの整備に取り組んでいる地域もある。本町の考えは。

照屋町長

Wi-Fiは必須だと思う。特にこれからMICEが来るようなことも含めて防犯防災、それから地域の活性化のために必要なことだと考えている。特定推進事業費の話があったが、そのことを含めWi-Fiの環境整備には積極的に努めたと思っています。



Wi-Fi整備で町の防犯・防災を強固に！

東部環境美化センター老朽化問題

質問

八重瀬町での新炉建設が断念となり、早急に新たな場所を選定しても令和19年に供用開始となったいま、当該施設の今後の更なる老朽化、稼働率についてどう考えているか。そして施設周辺地域との住民説明会でも声が上がった地域との協定書の再締結、地域振興費についても考えを聞きたい。

照屋町長

南部広域行政組合の理事会の中でも、東部環境美化センターの老朽化、早めの移設をとすることは常に訴えている。尚かつ、この施設の延命措置について、皆さんと一緒に応分の負担をしっかりとやっていただきたという話もやっている。そしてこれまでも長きにわたり当添、板良敷区民には不安と負担を与えていることであるので、今回さらに延長と言うことになったら、当然地域の皆さんのご理解がなければ進められないことである。

ので、地域振興費、そして当然協定書の見直しは必要だと考えている。



老朽化した「東部環境美化センター」

その他の質問

MICE施設の進捗

自然災害時の罹災証明書の判定基準を国基準ではなく地域の実状に合わせて頂きたい

災害時に備えて発電機の補助はできないか

役場職員の定員不足。政策調整の今後

議長活動報告

(令和5年8月～令和5年11月) ※議長の主な日程を抜粋して掲載しております。



- | | | | |
|-------|-------------------------------|--------|-------------------------------------|
| 8月17日 | ・南部振興会 理事会 | 10月1日 | ・第58回 島尻郡陸上競技大会 |
| 8月19日 | ・与那原大綱曳まつり
オープニングセレモニー | 10月10日 | ・与那原町商工会法人化50周年記念事業
記念講演会 |
| 8月20日 | ・与那原大綱曳まつり大綱曳
道ジュネー | 10月11日 | ・南部地区市町村議会議長会 役員会・定例会 |
| 9月3日 | ・第70回 与那原町陸上競技大会 | 10月14日 | ・八重瀬分屯地創立50周年
第15高射特科連隊創隊9周年記念会食 |
| 9月9日 | ・令和5年 久米島大綱曳き | 11月2日 | ・与那原町商工会法人化設立50周年記念式典 |
| 9月15日 | ・与那原町敬老会 | 11月4日 | ・第21回 与那原町ふれあい文化フェスティバル |
| 9月19日 | ・「秋の全国交通安全運動」開始式 | 11月7日 | ・公共工事へのトラック使用の陳情要請
(トラック協会南部支部) |
| 9月26日 | ・南部消防協議会 第36回南部消防操法大会 | | ・沖縄県町村議会議長会 定例総会 |
| 9月29日 | ・南部振興会 理事会 | | |
| 9月30日 | ・第41回 与那原大綱曳まつり 図画・作文コンクール表彰式 | | |

議会と意見交換できるんです

※議会と意見交換したい方は申し込みが必要です

日頃生活をしている中で「これ何とかならないかな?」とか「こうしてほしい」など、さまざまな課題が出てくると思います。町長を始め、役場職員、町議会議員でもなかなか気づかないこともあります。皆様が気づいたことを議会や行政に届け、住みやすい安心・安全なまちづくりをしていきましょう。



↓そこで…あなたの意見を届けよう↓

一般会議をしませんか!?

※「一般会議」とは「与那原町に関する課題」について、町民の皆様が直接声を届けられる会議です。あなたと議会が直接意見交換ができます。議会と意見交換したい方は**参加申し込み**が必要です。詳細は下記「議会事務局」へお問い合わせください。

お問い合わせ

議会事務局 ☎945-5775



12月の定例議会は…

予定 4日(月)～8日(金) 一般質問▶6日(水)・7日(木)・8日(金)

定例会は6月、9月、12月、3月に開会しています。(10時から)

町民の皆さん、まずは足を運びましょう!

議会日程は議会ホームページ <http://www.town.yonabaru.okinawa.jp/gikai/>
または「議会事務局 ☎945-5775」へお問い合わせください

You Tube でも傍聴できるよ～!



編集後記



議会広報常任委員会
委員 諸見里史子

町議会は年4回、3月、6月、9月、12月に定例会を開会しています。

議会では、町民の生活に密着した重要な問題が審議されています。町政を知る為にも、直接「見たい」、「聞きたい」と、ぜひ町議会の議会を傍聴してみませんか。なお、YouTubeでライブ中継を行っておりますので、そちらもご利用ください。「議会だより」が町民の皆さんへの情報発信、そして心のよりどころとなるように努めて行きます。広報委員会一同はこれから、読みやすく飽きないよう、に、精進していきます。



ヒーロー・ヒロインインタビュー

第105回 全国高校野球選手権記念大会で活躍

沖縄尚学高等学校3年 玉那覇^{せお}世生さん



今回紹介するヒーローは、東浜在住の玉那覇世生さん。今年の夏、第105回全国高校野球選手権大会に出場し、タイムリー安打を放つなどの活躍。

将来はプロ野球を目指しているとの事で、今後与那原を担う人材として紹介します。



全国高校野球選手権記念大会で
2点タイムリーツーベースヒットを
放ち大活躍した玉那覇世生選手



●野球を始めたきっかけは。

父とのキャッチボール（5歳、6歳）頃

●野球を通して良かった（楽しかった）ことは。
辛いと思ったことは。

自分は野球を通して、練習でうまくいかないこともたくさんあったり、辛いと思ったこともたくさんあったが、それをチーム全員で乗り越えて試合に勝つことの喜び、良いプレーができた時の喜びを得られることがとても楽しかった。

●日頃より心掛けていることは。

健康な生活（睡眠をよくとる、ご飯をよく食べる、たくさん運動する）あいさつやお礼など礼儀正しくする。

●甲子園を経験して感じたことは。

まず、甲子園という場所に立って、スケールが違うなと感じたし、まさに夢の舞台だなと感じた。プレーしていてもすごく楽しかったし、一番は歓声や応援の迫力がすごかった。とても貴重な経験をさせてもらった。



与那原マリンズの後輩達と

●今後の目標は。

まずは大学へ進学してしっかりと体づくりをして、しっかり結果を残してプロ野球選手を目指し、その舞台で活躍できるように頑張りたい。

●与那原町への希望・要望は。

もっと子どもたちが野球に触れる環境を作ってほしいし、野球の良さを伝えて野球人口を少しでも増やして欲しい。

●与那原町でスポーツを頑張っている子ども達へ一言。

自分の目標、夢に向って、ひたむきに努力し、最後まで諦めずに全力で頑張ってもらいたい。